

【施策評価調査】

| | | | | | |
|------|---|---------|-------|--|---|
| 施策名 | 3-2-2 | 環境学習の充実 | | 98 | 「エコ・ハウスたかねざわ」での環境問題の啓発事業を通し住民が主体的に事業を展開することを図り、また、それをコーディネートする人材を育成する。将来的には住民による環境NPOを設立する。 |
| | ※高根沢町地域経営計画2006 該当ページ | | | | |
| 担当部課 | 住民生活部 環境課 | 担当 | 環境担当 | | |
| | | リーダー | 竹澤 伸一 | | |
| 環境変化 | 平成20年度からはじめた「エコイベント推進事業」(リユース食器・洗浄ユニット・エコステーショングッズの貸出し)と「とちぎの元気な森づくり県民税交付金事業」の本格的運営 | | | 「エコ・ハウスたかねざわ」を環境学習やリサイクル活動の中心的施設と位置付け、住民に親しみやすい環境学習の機会を提供し、リサイクル活動の参加者拡大を図ります。(※「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋) | |

■指標

| 施策の評価指標 | 基準値 | 年度 | 18年度 | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 |
|-------------------------|----------|----|---------|----------|----------|----------|--------|
| 指標①:環境学習・体験年間参加者数(人) | 平成16年度実績 | 計画 | 1,200人 | 1,250人 | 1,300人 | 1,350人 | 1,400人 |
| | 1,161人 | 実績 | ↓ 1,111 | ↓ 1,122人 | ↑ 1,874人 | ↑ 1,704人 | |
| 指標②:人口1人・1日当り可燃ごみ排出量(g) | 平成16年度実績 | 計画 | 285g | 283g | 281g | 279g | 277g |
| | 285g | 実績 | ↓ 318g | ↓ 322g | ↓ 327g | ↓ 333g | |
| 指標③: | | 計画 | | | | | |
| | | 実績 | | | | | |
| ◆◆ 指標に関する特記事項 ◆◆ | | | | | | | |

| | 年度 | 18年度 | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 |
|-----------------------|----|------------|------------|------------|------------|------|
| 施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移 | 当初 | 10,000,000 | 10,000,000 | 10,000,000 | 10,000,000 | |
| | 決算 | 10,000,000 | 10,000,000 | 10,289,365 | 10,069,300 | |

■事務事業事後評価 21年度の検証

| 施策傘下事務事業 | 事業費 | 活動量(アウトプット) | 施策への貢献度 | 施策達成にどう貢献しましたか?(アウトカム) | | | |
|-------------------|---------------|-------------------|---------|--|----|--------------|----|
| ①エコ・ハウスたかねざわ運営管理費 | 当初 10,000,000 | 利用者数 | A | 町内をはじめとした小中学生への「マイはしづくり」の体験学習や「エコ料理」の出前講座などさまざまな環境学習活動をおして利用者の拡大ができ、中心的施設として、親しみやすい環境学習の機会が提供されています。 | | | |
| | 決算 10,069,300 | 30,147人 / 20,000人 | | 今後の方向性(自己評価) | 継続 | 今後の方向性(総合評価) | 継続 |
| ② | 当初 | | | | | | |
| | 決算 | / | | 今後の方向性(自己評価) | | 今後の方向性(総合評価) | |
| ③ | 当初 | | | | | | |
| | 決算 | / | | 今後の方向性(自己評価) | | 今後の方向性(総合評価) | |
| ④ | 当初 | | | | | | |
| | 決算 | / | | 今後の方向性(自己評価) | | 今後の方向性(総合評価) | |
| ⑤ | 当初 | | | | | | |
| | 決算 | / | | 今後の方向性(自己評価) | | 今後の方向性(総合評価) | |

■施策事後評価 21年度の検証

| | 施策達成状況に関する評価 | 課題と今後の方向性 |
|------|---|--|
| 自己評価 | 指定管理者制度を活かして、環境学習やリサイクル活動の中心的な施設としてのさまざまな体験活動、出前講座などを行い、利用者数も3万人をこえました。環境学習面では、毎月の体験受入れを行うなど積極的に環境への理解を深めるよう活動しています。リサイクル活動面では、資源回収の拠点として利用人数も増加し、環境への関心を高めるうえでも有効な施設として位置づけられます。 | 現在の環境活動の中心的施設としてエコ・ハウスたかねざわは大きな役割を担っています。子供たちへの体験活動をおした環境学習は今後の高根沢町の環境づくりには欠かせないものであり、これらの活動は特徴ある民間の活用がより有効です。平成22年度で5年間の指定管理者契約が終了しますが、今後も引き続き指定管理者制度による民間活用が有効と考えています。 |
| 総合評価 | 継続的に施策展開されていると評価する。エコ・ハウスを前面に押し出した施策展開の中で、今までの取組みを検証し、より成果をあげるために、将来を見据え広い視点を持った、学習プログラム・人材育成プログラムが作成され、よりインパクトのある施策展開がされることを期待する。 | |